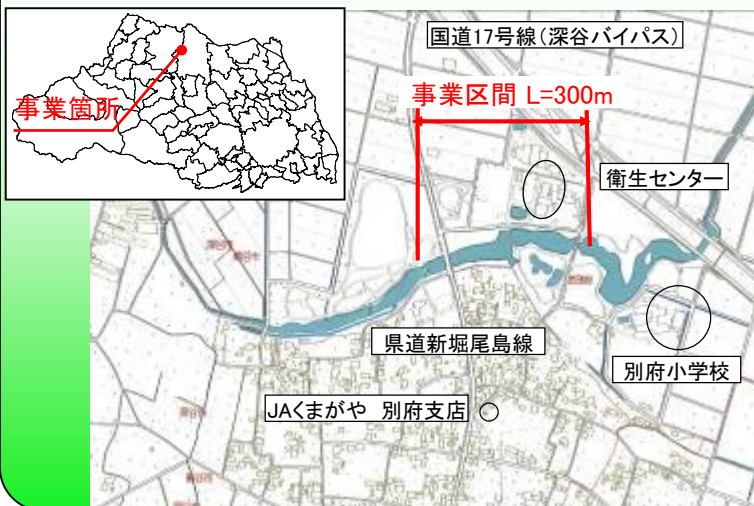


位置図



事業概要

事業期間	平成21年度～平成22年度
総事業費	20,000千円
工事延長	延長 L=600m
事業内容	沼の浚渫 一式
	流路木柵水路 L=300m
	環境配慮型水路 L=300m

地域の声

かつて生息していた動植物が再生され、自然とのつながりを深め、自然を大切にすることを期待している

事業経緯

別府沼水辺再生連絡協議会
 ・第1回 (H21.9.30)
 ・第2回 (H22.10.1)

測量・設計 (H21.4～H22.9)

工事 (H22.10～H23.3)

協議会メンバー

別府連合自治会、別府沼を考える会、
 西別府自治会、EMネット埼玉 (NPO)
 大里用土地改良区、埼玉中央漁業組合
 奈良堰用水維持管理組合、熊谷市、県

作業検討会の実施

・現地調査、再生素案の作成
 専門家(立正大学地球環境科学部
 教授)のアドバイス



地域活動

- ・地元自治会を中心とした各団体参加による清掃の実施
- ・地元中学校による清掃の実施
- ・地元小学校による水辺観察会の実施

整備の状況



葦や土砂が流水を阻害している (H21.8撮影) 土砂を掘削して水路を整備した。(H23.3撮影)

整備テーマ
ポイント

水質を改善し、地域の多様な生物が住む里沼としての水辺空間を創

出する
ポイント：沼の中央部に水の流れを確保し、水のだよみや浮遊物の浄化を図り水質を改善する
：沼に池（タニ）を創設して、水深に変化を与え、水辺の動植物の多様性を復元する

別府沼水辺再生による復元図の設置

沼の浄化と多様な動植物の再生を目的とした水辺再生事業の周知・啓発のための説明板を設置しました



流水を確保する木柵水路工

水の流れが少ないときに流れを確保すると共に水質の改善を図るための水路です。



★：ビューポイント

平面図



別府沼排水浄化の試み

沼の水質を改善するために炭を使った排水浄化システムの試みをしています



タニを創設し水辺の多様性を確保する浚渫工

かつて生息していた水辺の植物や魚、昆虫、野鳥などの多くの動植物の復元を図るためのものです。



横断図

